



昭和女子大学 × テンプル大学

ジャパンキャンパス

日米アカデミックフォーラム

2018年9月21日

昭和女子大学理事長・総長 坂東真理子

# 昭和女子大学

1920年

創立

5学部14学科

学部学科

5,916人  
(2018年5月現在)

学生数

## SWUの特徴；

- キャリア；8年連続女子大トップの就職率
- グローバル教育；
- ◇ボストンキャンパス（2018年；30周年）
- ◇上海交通大学とダブルディグリー
- ◇文科省：グローバル人材育成支援”S”評価
- 志願者数：女子大トップ（2018年度入試）
- 社会との連携；社会人メンター制度、NPO昭和  
社会人研究員＝現代ビジネス研究所、プロジェクト活動

# TEMPLE UNIVERSITY

## Japan Campus

1884年 米国本校 フィラデルフィア 約4万人  
1982年 日本校開校

10学科

1,389人

(国籍割合； 米国41%、日本37%  
その他22% 16年秋学期)



2019年9月  
スーパーグローバルキャンパス誕生

# 多様性時代の学生サポート

## 1. 国際化の遅れ

世界から留学生がこない（国際競争力がない）  
留学に行かない（英語力、経済力が乏しい）

## 2. 学生の学習状況

入学選抜手法の改革→学習成果をあげる大学へ  
教員は研究者か教育者か [swu.ac.jp](http://swu.ac.jp) / [tuj.temple.edu](http://tuj.temple.edu)

### 成績評価

留年、中退の極端な少なさ  
リーディング・アサインメント、宿題、レポートの少なさ  
日本；アルバイト、部活  
GPA (Grade Point Average)  
予習、復習の少なさ、双方向の議論の少なさ

## 3. 学生の就活

就職協定、3年で3割退職 → 通年採用にどう対応するか  
企業は採用にあたって、面接と入試偏差値を重視  
（大学の学習を評価しない）  
即戦力にならない → 短期インターンにさえ及び腰の企業

# 教員の課題

研究業績重視 → 守備範囲の狭さ

教育方法が体系化されていない（FDも自主活動）

社会とのつながりが薄い（専門分野による）

評価が十分おこなわれていない  
（学生から、同僚から、経営者から）

職員との職務分担が十分行われていない

# 職員の課題

## 「学生支援」に関して

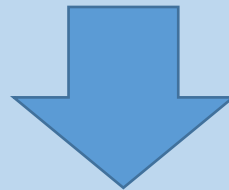
- ・ 保護責任（何かあったら大学の責任） → 学生に責任（一人前の大人）
- ・ 相談サポート（学習相談、留学相談、健康メンタル相談）  
→ 専門的職員をどう育てるか

## 「専門性の課題」 TUJから学ぶこと大

- ・ 入試アドミッション（18歳 → 社会人、シニアをどうひきつけるか）
- ・ 広報（入試広報 → 企業・社会への働きかけ）
- ・ 企画（ニーズ把握、規制との兼ね合い）
- ・ Fund-raising（一番見劣り）
- ・ 卒業生へのサポート（女性の再就職支援・同窓会との連携）

# 結論

日本の大学の国際競争力の  
低下は人材競争力の低下



教員、職員のパワーアップが不可欠